

今月の
テーマ : 経営者「環境力」大賞発表会

2022年4月 Vol.30 No.4



環境と文明

認定 NPO 法人 環境文明 21 会報

報告

第 14 回経営者「環境力」大賞 発表会

事務局

2月25日、オンラインにて、2021年度経営者「環境力」大賞顕彰式および発表を開催いたしました。当日は、大賞を受賞された6名の方に発表をしていただき、その後、第二部として、「脱炭素社会を支える環境力」をテーマに国立環境研究所の増井利彦氏に話題提供をしていただきました。

森 弘吉 氏

株式会社エムダイヤ 代表取締役

「自社における取組について」

当社は、各種リサイクル機械の製造・販売、各種機械の改造・修理、リサイクル業一般を行う総合環境企業である。従来のリサイクル技術では処理が困難な資源や、リサイクルしても質が低下して価値が下がるものが多くあり、ごみとして焼却・埋立されたり、廃棄物の不法投棄を誘発する原因となっていた。このようなリサイクルの課題に対し、自社の独自技術により開発した機械を使い、従来はごみとして処理されていたものを資源化する取組を行っている。



例えば、分離・破碎機を使うことで異なる素材の混合物を素材ごとに分離・破碎することができ、従来は焼却処分されていたものもリサイクルが可能となる。従来は切断が難しい光ケーブルのようなものも、連続切断機を使えば切断して資源化できる。今、注目されている都市鉱山から回収した貴金属やレアメタルも、基板剥離機により電子基板から電子チップを極力傷つけずに剥離すれば、高付加価値化の可能性が大いにある。

当社では常に変化するリサイクルニーズに対応し、「もったいない！をカタチに。」を企業理念に、ごみの山を資源に変えるべ

く、独自技術を追求していきたい。更に、リサイクルにより元の製品より次元・価値の高いものを生み出す「アップサイクル」の取組も始めており、機械を製造する際、下取りした別の機械から古い部品を取り出し、加工して再利用している。現在はまだ数例だが、今後はアップサイクルを積極的に進めていきたいと考えている。

また、顧客や環境に貢献するためには社員自身が健康で会社に対する満足度が高いことが重要だとの認識のもと、全社的に健康経営に取り組んでおり、「とやま健康企業宣言 銀 (Step1)」の認定を受けている。福利厚生も充実させており、独自の取組として「サンキューカード」を実施し、仲間意識や感謝の心を育む効果を挙げている。こうした当社のビジネスモデル、健康経営意識、リスクマネジメントが高く評価され、2021年にはホワイト企業認定制度のゴールド認定を取得した。また「富山県 SDGs 宣言」にも参加し、経営と独自技術の両面から環境への貢献を目指している。

経営方針として、経営環境が変化しても社員一人一人が経営理念を守り自ら考え行動できるよう、会社全体での行動基準を策定し、その徹底を図っている。年輪経営を旨とし、急成長はリスクと考えて、着実な成長を心がけ、ESG 経営で事業を通じて環境や経済に貢献したいと考えている。